

年頭のごあいさつ 新年明けまして おめでとうございます

横河電機健康保険組合
理事長 朝長正隆



新年明けましておめでとうございます。

事業主ならびに被保険者の皆さまには、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当健康保険組合の事業運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年、健保連が発表した令和6年度健康保険組合決算見込状況によると、経常収支は145億円で、前年度の1365億円の赤字から2年ぶりに黒字に転じました。しかし、全体の47.9%、660組合が依然として赤字に陥っています。賃金上昇に伴う保険料収入の伸びと保険料率の引き上げで経常収入は増加しましたが、平均保険料率は前年度比0.04ポイント増の9.31%で過去最高となりました。また、高齢者医療への拠出金も5.7%増の3兆8591億円に達し、こちらも過去最高を更新しました。保険料率の引き上げがなければ赤字になっていましたので、健康保険組合の財政は大変厳しい状況となっています。

このような厳しい環境下で、令和6年度の当健康保険組合の経常収支はマイナス5.14億円となり、2期連続赤字決算となりました。健康保険料率は7.90%に据え置いておりますが、保険給付費や高齢者医療への拠出金の増加が続き、非常に厳しい財政状況となっています。そのような状況を打破すべく、当健康保険組合では、将来に渡る医療費の低減と加入者の健康増進を目的に特定健診・特定保健指導をはじめ、人間ドック、生活習慣病健診、がん検診、糖尿病性腎症重症化予防プログラム、生活習慣病重症化予防のための受診勧奨、ウォーキングイベントなどの保健事業に取り組みました。さらに、保健指導宣伝においては、機関誌「けんぽだより」でのタイムリーな情報提供を行い、薬のオンライン購入サイト「あなたの薬箱」の提供、セミナー開催など、セルフメディケーションの促進に取り組みました。加えて、生活習慣病リスクを抱えている40歳未満の若年層への保健指導や60歳以上の健診未受診者への受診勧奨（郵送健診）・保健指導プログラムの提供など新たな取り組みも始めています。

昨年の大きな変化として、令和7年12月1日をもってカード型旧健康保険証の使用が終了し、マイナ保険証（マイナンバーカードを健康保険証として利用登録したもの）を基本とする仕組みへ移行しました。また、令和8年度から「子ども・子育て支援金」制度が導入され、事業主および被保険者は健康保険料・介護保険料に加え、第3の費目として、支援金を納めていただくことになります。この制度は、子どもや子育て世帯を社会全体で支える仕組みで、支援金は少子化対策や子育て支援に活用されます。

当健康保険組合では、今年も皆さまの健康づくりと健康意識向上のため、保健事業を通じて健康増進を図り、良質で効率的な医療を受けられる環境を整えるべく、事業主や他の健康保険組合と協働しながら、加入者の皆さまの安心・安全実現のために努めてまいります。インフルエンザ等の感染拡大が懸念されますが、基本的な感染対策を継続し、また、疾病の早期発見のためにも毎年の健診を欠かさず、ご自身やご家族の健康や体調の管理に留意いただき、積極的に健康の維持・増進に努めていただくようお願いするとともに、引き続き健康保険組合の事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、被保険者の皆さまとご家族の益々のご健勝をお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年 元旦

